

## 兵庫県の概要

兵庫県は、日本列島のほぼ中央に位置し、県面積約8,400km<sup>2</sup>、県人口は約553万人(2016年11月現在)、41市町からなっています。北は日本海、南は瀬戸内海と太平洋に面し、大都市部から豪雪地帯、離島に至るまで、文化や気候、風土の異なる多種多様な地域で構成されており、「日本の縮図」と言われています。

### (1) 医療体制

本県では10の2次医療圏からなり、厚生労働省から指定されている都道府県型がん診療連携拠点病院1施設と地域がん診療連携拠点病院13施設のほか、県が独自に指定した拠点病院9施設と専門的ながん診療機能を有する病院23施設が中心となって、相互に連携を図り、標準的治療などがん患者の状態に応じた適切な治療を提供しています。

### (2) 死亡率と生存率

本県の75歳未満年齢調整死亡率(H26)は全国平均並で、部位別にみると肝と肺は高く、子宮と乳は低い水準にあります。

また、本県の5年相対生存率(兵庫2007-2008年症例、全国2006-2008年症例)は、全国平均より低いですが、部位別にみると肝と膵は高くなっています。

## 兵庫県がん登録の歴史

兵庫県のがん登録事業は、昭和39年から県医師会、医療機関等の協力のもと開始されましたが、平成13年から個人情報の保護に慎重を期すため一時休止しました。その後、個人情報保護の法整備がなされ、また、健康増進法の施行やがん対策基本法の制定によりがんの罹患状況等の把握、分析が求められていることなどから、平成19年診断症例から再開しました。

## がん登録室紹介

平成19年の事業再開以降、地域がんに係る登録、集計、解析等業務は、公益財団法人兵庫県健康財団に委託



(公財)兵庫県健康財団 がん登録室の様子

兵庫県のマスコット  
はばタン



しています。登録室の体制は、室長・医師1名(非常勤)と課長・事務1名、看護師1名、実務者3名の計6名です。

## 現状と課題

本県の地域がん登録事業に関する届出状況は、平成19年度の45病院約5千件から27年度には84病院約59千件と、10倍以上に増加しました。これに伴って、DCO割合は19年の44.7%から24年の13.3%に減少し、「29年度までにDCOを20%以下とする」兵庫県がん対策推進計画の目標を前倒しで達成しました。さらに、都道府県型の拠点病院が中心となって、実務者が相互に研鑽する研修会を定期的を開催し、登録精度の向上を図っています。

一方、全国がん登録の開始とも相まって、現在行っている作業をこれまでと同じようにするのか、いつまで続けるのかといったことを決断しなければならない時期が迫っています。

## 全国がん登録

平成28年1月から全国がん登録が始まりました。すべての病院等から届出により、がんの罹患情報がより正確に、効率的に収集されることから、得られた情報を活用できれば、がん対策の充実が図られるものと期待しています。

県ではこれまで、医療機関向けにがん登録推進法や全国がん登録の内容から届出の具体的な方法、スケジュールまで幅広く盛り込んだ説明会や研修会を開催し、来年度から本格的に始まる届出に備えています。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を頂きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

# 兵庫県

兵庫県健康福祉部健康局 疾病対策課  
がん・難病対策班  
西村 牧子

登録室ご紹介